CASBEE®静岡

CASBEE建築（新築）2021年版 対応

□欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要

建物名称	日本真空光学㈱G棟増築工事	BEE	1	BEEランク	B+	★★★

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点※/満点		取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進（Global Warming）	3.7	/5		ふつう
"災害に強いしずおか"の形成（Disaster）	2.9	/5		がんばろう
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進（Universal Design）	2.7	/5		がんばろう
"緑化及び自然景観"の保全・回復（Nature）	2.6	/5		がんばろう

※対応するCASBEEのスコア（平均）を5点満点で表示します。（スコア1.0＝1点、スコア5.0＝5点）

評価　凡例	よい 4点以上	ふつう 3点以上	がんばろう 3点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号（①～）を示し記述してください。

"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進（Global Warming）　得点 3.7

■室内環境対策　（①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数）
特になし。

Q-1	2	2.1	2.1.2	①	外皮性能
Q-1	3	3.1	3.1.3	②	昼光利用設備
		3.2	3.2.1	③	昼光制御
Q-2	2	2.2	2.2.1	④	躯体材料の耐用年数
			2.2.2	④	外壁仕上げ材の補修必要間隔
			2.2.3	④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔
			2.2.4	④	空調換気ダクトの更新必要間隔
			2.2.5	④	空調・給排水配管の更新必要間隔
			2.2.6	④	主要設備機器の更新必要間隔

■室外環境（敷地内）対策　（⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上）
特になし。

Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出
	3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上

■エネルギー対策　（⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用）
⑨BEI= 0.44。

LR-1	1			⑦	建物外皮の熱負荷抑制
	2			⑧	自然エネルギー利用
	3			⑨	設備システムの高効率化
	4	4.1		⑩	モニタリング
		4.2		⑩	運用管理体制

■資源・マテリアル対策　（⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避）
⑪節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。
⑫LGS使用している。
⑬発泡剤を用いた断熱材等を使用。

LR-2	1	1.1		⑪	節水
		1.2	1.2.1	⑪	雨水利用システム導入の有無
			1.2.2	⑪	雑排水等利用システム導入の有無
	2	2.1		⑫	材料使用量の削減
		2.2		⑫	既存建築躯体等の継続使用
		2.3		⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用
		2.4		⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用
		2.5		⑫	持続可能な森林から産出された木材
		2.6		⑫	部材の再利用可能性向上への取組み
	3	3.1		⑬	有害物質を含まない材料の使用
		3.2	3.2.1	⑬	消火剤
			3.2.2	⑬	断熱材
			3.2.3	⑬	冷媒

■敷地外環境対策　（⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善）
⑭ライフサイクルCO2排出率78%。

LR-3	1			⑭	地球温暖化への配慮
	2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善

"災害に強いしずおか"の形成（Disaster）　得点 2.9

■サービス性能対策　（⑯耐震・免震/⑰信頼性）
特になし。

Q-2	2	2.1	2.1.1	⑯	耐震性
			2.1.2	⑯	免震・制振性能
		2.4	2.4.1	⑰	空調・換気設備
			2.4.2	⑰	給排水・衛生設備
			2.4.3	⑰	電気設備
			2.4.4	⑰	機械・配管支持方法
			2.4.5	⑰	通信・情報設備

"しずおかユニバーサルデザイン"の推進（Universal Design）　得点 2.7

■サービス性能対策　（⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり）
⑳0.1≦［壁長さ比率］＜0.3。

Q-2	1	1.1	1.1.3	⑱⑲	ユニバーサルデザイン計画
	3	3.1	3.1.1	⑳	階高のゆとり
			3.1.2	⑳	空間の形状・自由さ

■室外環境（敷地内）対策　（㉑地域性・アメニティへの配慮）
特になし。

Q-3	3	3.1		㉑	地域性への配慮、快適性の向上

"緑化及び自然景観"の保全・回復（Nature）　得点 2.6

■室外環境（敷地内）対策　（⑤生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上）
特になし。

Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出
	2			㉒	まちなみ景観への配慮
	3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上

■敷地外環境対策　（⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善）
特になし。

LR-2	2	2.5		⑫	持続可能な森林から産出された木材
LR-3	2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善

CASBEE®-建築（新築）　評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版　　使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.5)

1-1 建物概要

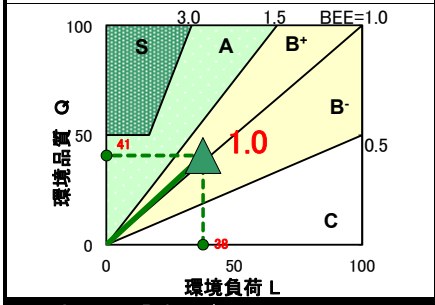
建物名称	日本真空光学㈱G棟増築工事	階数	地上2F
建設地	静岡県御殿場市中畑字永坂1413-1	構造	S造
用途地域	指定なし地域・防火地域指定なし	平均居住人員	21 人
地域区分	5地域	年間使用時間	1,920 時間/年（想定値）
建物用途	工場,	評価の段階	
竣工年	2027年6月　予定	評価の実施日	2026年3月20日
敷地面積	15,440 ㎡	作成者	早田尚
建築面積	2,652 ㎡	確認日	
延床面積	2,537 ㎡	確認者	

1-2 外観

2-1 建築物の環境効率（BEEランク&チャート）

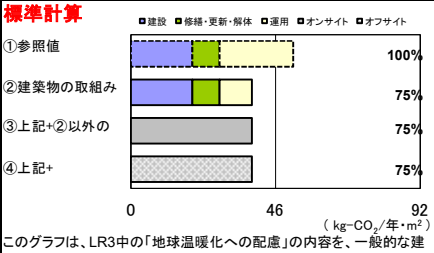
BEE =1.0

S: ★★★★★　A: ★★★★　B⁺: ★★★　B⁻: ★★　C: ★



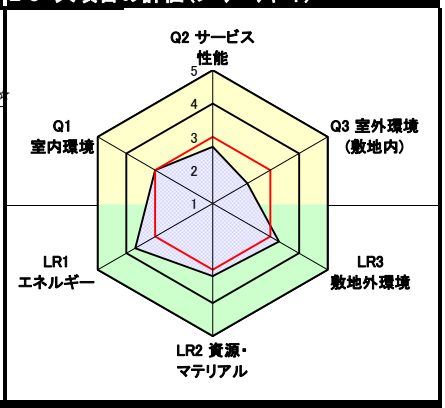
2-2 ライフサイクルCO$_2$(温暖化影響チャート)

30%: ☆☆☆☆☆　60%: ☆☆☆☆　80%: ☆☆☆　100%: ☆☆　100%超: ☆



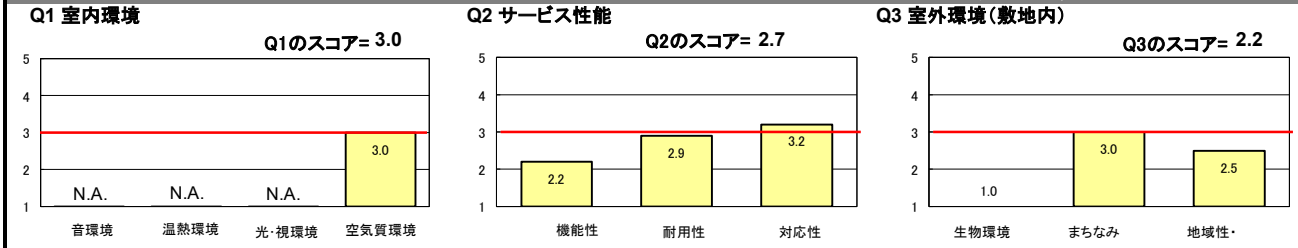
このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価（レーダーチャート）

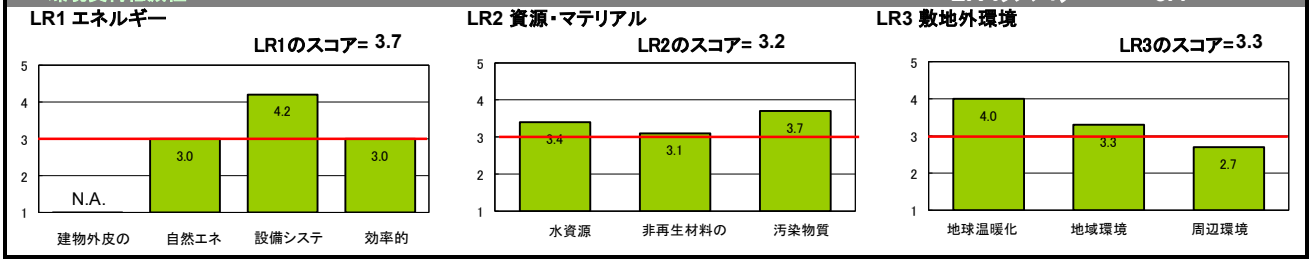


2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア＝ 2.6



LR 環境負荷低減性　　LR のスコア＝ 3.4



3 設計上の配慮事項

総合

ライフサイクルCO2排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。これはCASBEE静岡（2021年版）による評価結果です。

その他

特になし。

Q1 室内環境

評価対象外。

Q2 サービス性能

0.1≦ [壁長さ比率] ＜0.3。
そして、配線は空配管内に設置されます。ケーブルラックにより仕上材を痛めずに更新・修繕ができる。

Q3 室外環境（敷地内）

特になし。

LR1 エネルギー

BEIm= 0.44。

LR2 資源・マテリアル

節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。
そして、LGS使用している。
また、発泡剤を用いた断熱材等を使用していない。

LR3 敷地外環境

ライフサイクルCO2排出率78%。
そして、燃焼機器を使用していない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO$_2$」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO$_2$排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される